

柘植地域

まちづくりだより

第295号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

発行日

〒五一九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
2023(令和5)年8月1日(火)



柘植地域俳句コーナー
出来たの
あををを匂ふ
大芽の輪
吉岡 好子

令和5年度・いがまち3地域 『合同区長会』開催

7月19日(水)午後2時〜ふるさと会館小ホールに於いて、令和5年度『いがまち3地域合同区長会』が開催されました。柘植・西柘植・壬生野(3まち協)の役員及び区長、伊賀市関係部課職員の総勢53名が出席しました。

最初に3まち協(地域自治推進会議)会長の宮田会長、及び伊賀市地域連携部・数中部長から冒頭挨拶があり、続いて出席者全員の自己紹介からスタートしました。(合同区長会幹事・壬生野地区市民センター 居附所長にて司会進行)

- ① 新たな「いがまち図書室」の運営について・・・【上野図書館／小林館長】
- ② 空き家対策の現状と対策について・・・【伊賀市空き家対策室／森口室長】
- ③ 地域公共交通の現状と課題について・・・【伊賀市交通政策課／坂森主幹】

各課題に対して、各々質疑応答有り。特に

「空家等対策の推進に関わる特別措置法」の一部改正する法律が令和5年6月に公布され、「²⁰²⁴年から相続登記の申請が義務化されます」違反した場合、10万円以下の料金が課せられます。

「公共交通の現状と課題について」に関しJR柘植駅及び新堂駅に、エレベーターの設置要望が出ており「検討課題とする」に留まっています。又、「JR関西本線利用者数の推移資料」に草津線のデータも開示要望が有りました。

更に伊賀支所管内を走るバス路線に関し、廃止代替バス・柘植線／いがまち行政サービス巡回車・柘植西柘植線、西柘植壬生野線の運行本数や今後の計画説明有りました。

新堂駅前にDMG森精機が建設中の複合施設に入る新装「いがまち図書室」の開館時期は11月初旬になるとの事。尚、先般から質問が出ていた開閉館時間・・・何時から何時まで開いているのか?には言及無くDMG森精機の意思決定がされていないとの回答(上野図書館長)に留まっています。



柘植小学校3年生 校外学習 で市民センターに来所

6月27日(火)午前10時に柘植小学校3年生の児童18名が2人の先生(久田教諭、勝島教諭)に引率され来所。毎年此の時期



夏の恒例行事になりました。今年も生徒の皆さんから様々な質問が出ており其の質問に応える形でパワーポイントで説明。

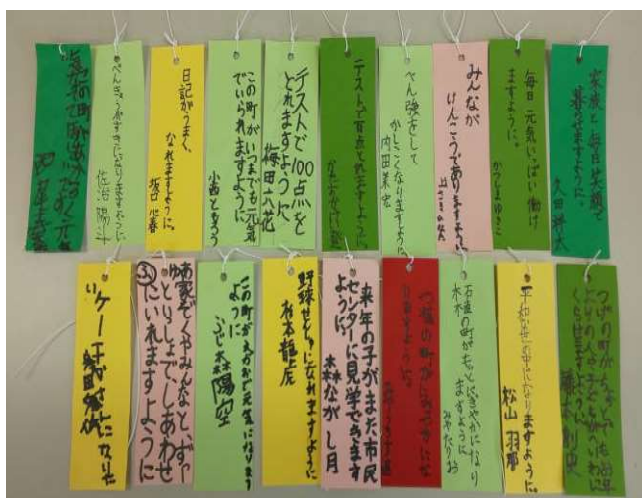
主な質問として、「市民センターではどんな仕事をしているのですか。」「市民センターではどんなイベントがありますか。」「どうして市民センターから5時のチャイムが鳴るのですか。」「一日に何人くらいの方が来ますか。」

「仕事をしていて、楽しいことや、うれしいこと。しんどいことや、苦勞することはありますか。」「柘植の町がどんな町になってほしいですか」等々、10数項目の質問があり、生徒たちは大変熱心に話を聞きながらメモを取り、いくつかの質問も出しました。

机上学習の後は、センターに在る各部屋及び厨房、外周(防災・時報アンテナ)等を案内。施設全般を見学し、約1時間半の校外学習を終えた次第です。当日は昨年(6月28日実施)同様、伊賀上野ケーブルTVの取材が入り、6月29日に放映されました。

柘植の町も「少子高齢化」が顕著に尽き、如何にして柘植の町に若い人達を増やし、町を活性化させるか・・・大きな課題です。人口減少に伴う『地方創生対策』は特に先進国に於いて直面する課題であり、各国に於いて、此の大問題に向き合っています。

『七夕』に近い為、生徒達に「短冊」を渡し、後日全員(小3・18名)の「願い」の事を書いたものを先生が持参。センター玄關の七夕飾りに



結んで願掛けしました。

『第1回つばこネットワーク 拡大委員会』が開催されました

7月4日(火)午後4時から、柘植中学校視聴覚室に於いて、令和5年度第1回目の『つばこネットワーク拡大委員会』が開催されました。

柘植中学校・中川校長(委員長) 柘植小学校・松本校長(副委員長/司会進行) 書記 柘植中学校・福岡教頭、会計・柘植小学校 青山教頭、柘植保育園・奥出園長、伊賀市教育委員会事務局から師井(もうい) 指導主事



いがまち人権センター大橋所長、教育ボランティア・西田代表、柘植地域まちづくり協議会・清水事務局長、同協議会区長代表丸山区長、小・中教諭、同・生徒代表等々20数名出席。自己紹介後、新組織及び事業計画の確認、事業進捗報告、今後の方向性「テーマ」身近な人権問題等について考える方向で検討」以上の議事にて初回のつげっこネットワーク拡大委員会が終了しました。



都美恵神社【奉納花火大会】
 毎年夏恒例の都美恵神社・祇園祭【奉納花火大会】が今夏も7月22日(土)夜8時から開催「宵宮」の神事が挙行されました。約500発の花火が打ち上がり、柘植の里の夜空に大輪の花の花が咲き誇り盛夏のひと時を彩りました。その後、無病息災・五穀豊穡を願って「探湯(くがたち)神事」が執り行われました。





翌7月23日(日)午前1時から祇園祭の「稚児踊り」(12区長参列)に続き「花笠神事」(うちわ取り)が行われた次第です。

★☆☆ 編集後記 ☆☆☆

▼昭和20(1945)年8月15日「終戦」から78年が経過しました。昭和・平成・令和と時代が変遷し戦争体験者が急速に減って居ます。戦後生まれの人口が全体の86%を超え、戦争が「記憶」から「歴史」へと変わりつつある中、戦争の惨禍を次代に伝えていく事の重要性・戦争が如何に悲惨な結果を招くのか・ロシアのウクライナ侵略が依然終息しない現状に於いては、尚更強く認識するところでありませう。

▼「国連」が機能していない。と云われて久しく、今般も5カ国の常任理事国の一角侵攻当事者のロシアが6回に及ぶ非難決議に「拒否権」を行使。有効な制裁を行えないという体たらく。日本が提唱する国連改革「日本とドイツの常任理事国入り。又常任理事国が侵略の当事者と為った場合は当該常任理事国の拒否権を剥奪する」提案。非常任理事国の日本(国連加盟国中最多の12回目・2年任期)が提案する改革案が受け入れられる為の強力な根回しが必須です。

▼「叩かれて 昼の蚊を吐く 木魚かな」

「暑苦し 昼寝の夢に 蝉の声」【夏目漱石】
東京帝大で同窓の俳人・正岡子規に多大な影響を受け、文学者としてのスタートは俳句でした。小説家として活躍する傍ら生涯で600余りの句を詠み、其の斬新にして洒脱な句風は文豪のもう一つの顔です。〈清水〉